

一般質問

12人の議員から17件の一般質問

一般質問とは？

議員が、町の一般事務に対してその執行の状況又は将来の方針、政策的提言や行政への批判等を執行者に直接質問することです。

質問の範囲は、町の行財政全般のほか、地域で住民生活に密接している事項など多岐にわたっています。



近藤 浩 議員（改革みずほの会）

支え合いのまちづくりを

町長 世代間の見守り活動につなげたい

質問 少子高齢化が進み、人口減少が問題とされる中、町の活性化と同時に、生命を大事にした心豊かな支え合いのまちづくりが必要である。そこで、以下の点をさらに進めるべきと考え、町長に伺う。

問① 一人暮らし高齢者や認知症の方などへの見守り活動について。

町長 多くの町民に見守り活動の参加を呼びかけている。今後、高齢者が子どもを見守り、子どもが高齢者を見守る活動につなげたい。

問② 災害時要援護者の避難対策について。

町長 災害時要援護者マップを作成し、関係機関に情報提供をしている。避難が必要となった場合には地域住民の協力が欠かせない。



大人と子ども一緒になってのもちつき大会（松原町町内会）

町長 日常的なふれあいを通じ、地域連携が図れるよう、さらに協力を仰ぐ。

問③ 空き家・空き室の有効活用を。

町長 課題を検討した上で考えるべき。

問④ 生き物とも共生できる豊かな町を。

町長 町民の生物多様性への関心と理解度を高め、有効かつ効果的な啓発活動を進めていく。

谷 四男美 議員（住民と自治の会）

町の財政計画について問う

町長 総合管理計画を通じて、取り組んでいく



昭和48年に建てられた瑞穂町図書館

質問 瑞穂町の財政状況は比較的良いとされているが、今後庁舎の改修、水・緑と観光を繋ぐ回廊計画、郷土資料館、コミセン等の施設維持費の増大で財政需用は強まる。4〜6月期の国内総生産（GDP）の大幅な落ち込

み、個人消費も過去20年間で最大の悪化であり、今後の町への税収、交付税、交付金等に大きな影響を及ぼすと考えられる。町もこれからより確かな財政基盤づくりを計画的に進める必要があると考える。町長の見解を伺う。
町長 町は、今後数年間をかけた社会インフラ全体を対象に、公共施設等総合管理計画の策定を計画している。町予算を組み立てる際

には、長期総合計画や実施計画における施策の位置づけをしっかりと確認し、個々の事業の予算計上を慎重に判断していく。行政の会計制度は、単年度かつ現金主義を採用しているため、コストやストックの把握に適していない面がある。そこで、総合管理計画を通じて、将来の財政需要を分かりやすく町民にお知らせできるよう取り組んでいく。



森 巨 議員（自民政会）

ごみ処理の合理化計画は進展しているのか

町長 構成自治体と連携し 合理化の実現を目指す

と思われる。

問② 計画が具現化した場合の町への影響は。
問③ 具現化に向けての課題は。

町長 2点目と3点目については、共通分別化、収集運搬方法、地域特性を踏まえた経費負担のあり方、施設配置、共同処理にあり、構成自治体で一般廃棄物基本計画を策定し推進している。そこで次の3点を町長に伺う。

問① 現時点での進捗状況は。
町長 構成市町がそれぞれ所有する資源化処理施設は、今後、単独での建て替えは、国や都の補助金獲得が難しい状況となっているため、ごみ処理全般で共同と連携が深まるもの

み処理業、業務の統一、合理化を構成自治体と連携し実現を目指していく。



青梅市・羽村市・福生市・瑞穂町で構成されている西多摩衛生組合

幼児教育の充実を

町長 国から新たな幼児教育の展開に要する独自財源が捻出されることを期待する。